

< 藤沢市：藤沢市駐車場案内システム >

施策名	藤沢市駐車場案内システム
取り組みの背景 地域の交通環境問題 行政・市民ニーズ 交通基盤シーズ など	背景 1：藤沢駅周辺における道路混雑は年々激しくなり、交通渋滞が日常化している。 背景 2：その原因として、違法路上駐車、駐車場待ち行列による路上占拠、駐車場を探すうろつき交通等が挙げられる。 背景 3：便利な特定の駐車場のみが常時満車状態となっているという利用状況の偏りがあり、効率的な駐車場利用がなされていない。
目的・ねらい 目的・ねらい 対象交通 など	目的・ねらい：違法路上駐車、駐車場待ち行列による路上占拠、うろつき交通等を無くし、効率的な駐車場利用を推進し、藤沢駅周辺の交通渋滞の解消を図る。 対象交通：藤沢駅周辺の渋滞を引き起こしているマイカー交通。
取り組みの経緯 経緯・熟度 など	平成 2 年度から導入に向けての調査・検討を実施。 平成 6 年度に駐車場事業者と本市で「藤沢駅周辺駐車場案内システム連絡協議会」を設立し、民間事業と公共事業の連携を図る。 平成 6 年度から平成 9 年度までの 4 ケ年で、システム整備事業を実施。 平成 8 年度に駐車場案内システム導入前調査を実施。
主体・広報・費用 実施主体 検討組織 広報スケジュール 費用負担 など	実施主体：神奈川県、藤沢市 検討組織：神奈川県警察、神奈川県、藤沢市 広報：平成 7 年 6 月 1 2 日 藤沢市長が記者会見 平成 8 年 1 1 月 2 5 日号 広報ふじさわに掲載 費用負担：国道及び県道上に設置するブロック案内板 5 基と個別案内板 5 基を神奈川県が施工し、市道上に設置するブロック案内板 4 基と個別案内板 1 3 基、端末機 1 4 基およびコントロールセンターを市が施工した。

実施概要	対象地域：藤沢駅周辺 約40ha
対象地域 実施日時 施策内容 など	実施日時：平成8年12月供用開始 施策内容：ブロック案内板 9基 個別案内板 18基 コントロールセンター 1箇所
効果測定内容	効果測定内容：路上駐車台数調査
測定内容 効果把握 など	渋滞長調査 旅行時間測定調査 駐車利用状況調査 効果把握結果：路上駐車台数は、概ね半減。 渋滞長は、交差点改良との相乗効果で、減少。 旅行時間は、27路線中、15路線で大幅な時間短縮。 駐車場利用は、利用総数は大きな変化はないが、利用率の低かった駐車場の利用率が上がっている。
取組上の課題	課題：民間駐車場事業者の事業負担金負担額の調整が難航した。
合意形成 費用負担 など	
その他特記事項	供用開始から約6年が経過し、新規参入駐車場についての取り扱いが、課題となっている。地図式案内板のため、改修を行うと多額の費用がかかり、現在の財政状況では、対応できない。
今後の方向性 地域指定 等	将来の更新時期に合わせて、対応せざるを得ない状況である。

以上

都道府県市名 : 神奈川県藤沢市
担当部局名 : 計画建築部都市計画課